

体験学習の生徒からのメッセージ

◎ 先日は2日間お世話になりました。学校をはなれ学んだことは、とても大変でしたが、いろいろな事がうまくできて、とてもうれしかったです。なによりも楽しかった2日間でした。野外炊さんではお米係りでした。自分の役割を果たし、班のみんなと協力して作ったカレーライスはとてもおいしかったです。ウォークラリーは大変つかれましたが、チェックポイントさがしを、みんなで考え、ゴールできてました。達成感はとてもうれしかったです。このような体験やクラフト作りをわすれず、友だちと協力して、学校生活や家でも生かしたいです。いろいろ教えてくださった青年の家の先生方ありがとうございました。

茂原市立中の島小学校 5年 男子生徒

◎ 貴重な体験をさせていただきありがとうございました。私は炊き込みご飯を作ることや竹を割るのは初めての体験だったので、とても勉強になりました。竹つつでもおいしいご飯がたけることがわかり良かったです。青年の家の先生が作ってくださった具がたくさんのお汁がおいしかったです。かくし味が、おしょう油とお酒と教えていただき、家に帰ってすぐお母さんに教えました。竹のお皿作りはおもしろかったけど大変でした。また、ご飯をたく時に煙で目が痛くなったけど楽しかったです。今回学んだことをおもいだしながら、今度は自分で作ってみようと思っています。

横芝光町立横芝小学校 5年 女子生徒

軽トラックがやってきた！



10月、軽トラックを購入しました。

施設内の整備で、主催事業での荷物運搬で活躍するでしょう。

大型給湯器が新しくなりました



従来のものよりお湯も多くなりましたので、便利になったと喜ばれています。



かがやけ東青

2014(平成26)年
11月号



正面玄関の大型竹灯り

竹灯りの風を！



竹山の荒廃が目につきますね。青年の家では自然体験活動の場となる杉林・竹山美化の一環として、近隣地主さんのご理解を得て竹の道を作るなど整備しております。その中で竹の活用を図ろうと、「竹灯り」作りを始めました。この工作は、竹の生態の理解、デザインの創造力、工作技術の習得、完成の喜びと内容のあるものです。作品に灯りがついた時の美しさは感動ものです。里山美化と人々の心をいやす「竹灯り」の風を東総地域に広げ、名物にしようと東金青年の家は燃えています。

東さん：今年度も半分過ぎましたが、この6ヶ月間の青年の家の利用状況はどうでしたか。
青氏：4～9月までに延べ24,164名、宿泊延べ人数は7,852名で、昨年と比べると前者で634名、後方で289名多くなっています。平成23年度からは、延べ利用人数は年々増えていますが、宿泊延べ人数は約8,400名から600名程度減っています。
東さん：利用団体はどのくらいですか。
青氏：前期6ヶ月では524団体、うち宿泊した団体は133団体です。利用団体は昨年度より16団体の増です。23年度から毎年度増えています。宿泊団体は昨年度123団体でしたが、他の年度は130団体以上です。
東さん：全体的には年々に増加ということですね。
青氏：そのとおりです。野外体験活動やランド利用は、天候に左右されるので大人数の団体や大型主催事業が天候により中止になった時は、利用状況の減になります。昨年度は、2月の少年少女ミニバスケットボール大会が雪の影響で中止となり1,500名も利用者が減ってしまいました。
東さん：最後に、どんな団体の利用があるのですか。
青氏：少年スポーツ団体が多く、続いて法人・会社の青年研修、小学校の体験研修、高等学校の研修や部活動、成人のサークル活動、大学の研修・サークル活動での利用です。最近、高等学校、大学の利用が増えていています。本音は青年の利用が歓迎なのですが……

※ 東さんは東金市内の中学生です。 青氏は青年の家の職員です。



竹にデザインをしているところ



穴をあける作業 (職場体験の中学生)



穴をあけたら竹を切ります



自由工作するためデコレーションを
(主催事業：遊んで、学んで)



灯りがつくと良い感じです
(主催事業：遊んで、学んで)



東金学寮IIの生徒の力作